

No.3376

第3694回例会
令和3年4月21日

OBIIHIRO ROTARY CLUB

DISTRICT 2500

方針「ONE TEAM」

会長 長澤秀行

2020-21年度国際ロータリーのテーマ ロータリーは機会の扉を開く

■会長報告



長澤秀行 会長
明日4月22日はアースデイ(地球の日)です。地球環境のことを考えて行動する日として、今から51年前の1970年に、アメリカのネルソン上院議員によって提唱されました。1970年から開始された東京銀座の歩行者天国(ホコテン)は、アースデイにちなんで考案されたとされています。ちなみに、銀座でホコテンがスタートする1年前、1969年に旭川市平和通り(旧師団通り)を買物公園とするホコテンの社会実験が始まり、1972年には本格実施されています。日本で本格的にアースデイのイベントが開始されたのは1990年からのようです。例年4月22日には、世界中で環境イベントが開催されますが、昨年に引き続き、今年もコロナ禍により自粛となりそうです。

「世界でよいことをしよう。」のもとに活動を行っている国際ロータリーの重点分野に、今年の7月から「環境」が加えられます。他の重点分野と同様に、地球規模の取り組みがなければ解決できない課題です。

先週、高原淳副会長から、アーサー・フレデリック・シェルドンに関する卓話がありました。ポール・ハリスを助けて、ロータリークラブの基礎を築いたロータリアン3賢人の一人であり、「親睦と相互扶助」から始まったロータリー活動に、「職業奉仕」の考え方を導入した人物でもあります。現在のロータリーの2つの公式標語は、「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」ですが、後者の考え方を提案したのが、シェルドンでした。彼の「ビジネスは、すべての社会に尽くす手段でなければならない。」「職業は、奉仕する手段である。」という考え方が、今日のSDGsの取り組みにつながっています。

本日のプログラムで紹介される近江正隆さんの取り組みも、今月のテーマであるSDGs、あるいはシェルドンの「最もよく奉仕する者」を実践していると思います。

■プログラム

(プログラム委員会)

「持続可能なまちづくりについて」

一般社団法人十勝うらほろ楽舎 代表理事 近江 正隆 様



持続可能なまちづくりについて

一般社団法人 十勝うらほろ楽舎

代表理事 近江 正隆



近江 正隆 (おうみ まさたか)

- 1970年 東京目黒生まれ。
- 1989年 北海道に里親移住。
- 1991年～2008年 渔業に従事。
- 1998年～2008年 水産加工＆ネット販売。
- 2008年 企画会社(株)ノースプロダクション設立。
- 2008年 うらほろスタイル地域創造会設立。
- 2012年 NPO法人食の軸を育む会設立。
- 2020年 一般社団法人 十勝うらほろ樂舎設立。

◀特技
すぐに動くこと
すぐに忘れるこ
ともまたすぐに動くこと

持続可能な地域とは？

「持続」とは、「次」「つながる」ということ。
「次」は「子どもや若者たち」
「地域」に「次世代人材」が関わり続けてくれる。

そこが「持続可能な地域づくり」の重要なポイント。
地域に「関わりたい」(楽しみたい) (やりたい)と、子どもたち

からが思えるような地域となるためにには、大人たちが地域でワクワクすること、楽しんでいる姿を次世代に見せることが大切。

そして、次世代人材がその姿を見て、大人たちや大自然・様々な経験から

多くのことを吸収しながら、自らで未来を切り拓く力を身につけて、さらに次

の世代に社会を引き渡すことを主体的に思える。そんな次世代人材を育める

地域が持続可能な地域になる。

浦幌町がワクワクする理由

若者たちが元気！若者が続々集まっている！

副業ボランティアで、企業人の皆さんが浦幌に
関わりを持ってくれたのは、ちょうど4年前。浦幌町が抱える地域の課題解決に一緒に
チャレンジしてくれた「浦幌ワークキャンプ」
が縁の始まりでした。そこでの関わりで学んだ1番のことであり、
地域に最も必要なことだと思うことは、

「地域でワクワクと活動する大人の姿」

浦幌町に訪れてくれている「福」業企業人の皆さんと
令和2年4月に、新しい組織を立ち上げました。

その組織が「一般社団法人 十勝うらほろ樂舎」です。

そして、この「樂舎」のミッションは、



みんなでワクワクしながら
新しい「地方創生」モデルで
持続可能な地域をつくる



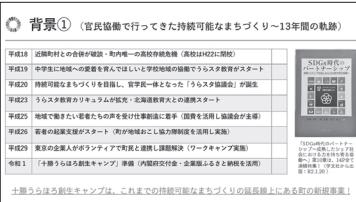
一緒に悩み、一緒に走る。

十勝うらほろ樂舎。

一般社団法人 十勝うらほろ樂舎

十勝うらほろ樂舎のミッション

みんなでワクワクしながら
新しい「地方創生」モデルで
持続可能な地域をつくる

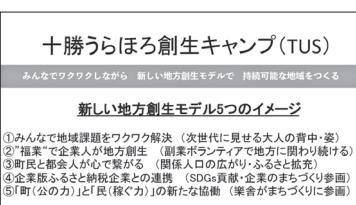
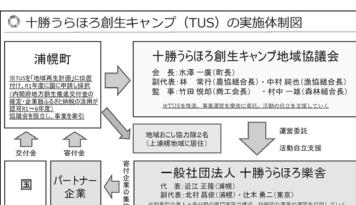
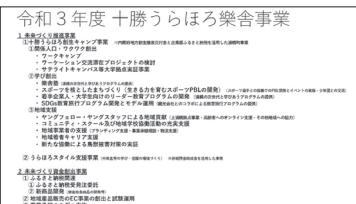
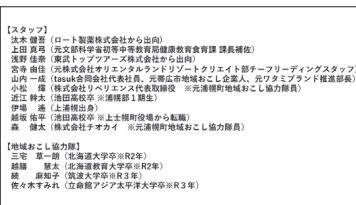
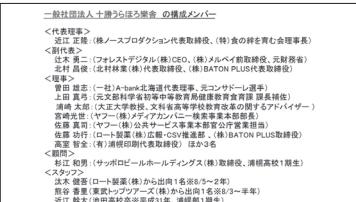


OECDFが2019.2に「OECDF教育2030」を公表

グローバル化が進み、AIやIoTなどの技術革新の進展による社会変革、貧困問題の問題、サービス化など、様々な社会課題が発生する。日本においては、高齢化による人口減少など、多くの困難で新たな課題に対応するために必要な能力や教育方法を整理。OECDF教育2030として「生き延びる力」の育成が必要であるとして、学びや考え方の在るべき姿を示した。

「生き延びる力」は「反省・予測・行動」というプロセスの中で、学習できる力であるとしている。

※OECDFは「Organization for Economic Co-operation and Development」。経済協力開発機構。先進国間の自由な意見交換・情報交換を通じて、1)経済成長、2)貿易自由化、3)途上国支援に貢献することを目的としている。



「OECDF」が定義する「生き延びる力」

①新しい価値を創造する力(Creating new value)
新しい事業・価値・サービス、新しい社会モデルを他者と協力して作る力。適応性、創造性、好奇心、他者と協働する力

②緊張とシナジーの調和力(Resolving tensions and dilemmas)
平等と自由、個人自立と地域利益、変革と保守的継続性など複数な競合する需要をやトレードオフ状態におけるバランスをとる力

③責任ある力(Taking responsibility)
自らの行動の将来の結果を考慮する力、自分の仕事の成果について責任をもって説明できる力、自ら評価できる力、社会の未来を想像し次世代に社会を引き継ぐ力、自己効力感、責任感、問題解決能力

課題解決能力、社会に貢献する力など。

■ビジター紹介

一般社団法人十勝うらほる樂舎 代表理事

近江 正隆 様

■会務報告

小水 基弘 幹事

①RI第2500地区 地区大会開催のご案内

日 時 令和3年5月29日(土)午後0時(登録受付)

場 所 富良野文化会館 大ホール

※バスを9:00出発(ノースランド前)致しますので、ご乗車希望の方は、8:50に集合してください。(時間厳守)

②帶広北RC・帶広東RC・音更RC、3RC合同例会開催のご案内

日 時 4月28日(水)午後0時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

※尚、帶広北RC、4月23日(金)の繰下げ例会と致します。

帶広東RC、4月27日(火)の繰下げ例会と致します。

③・帶広西RC、4月29日(木)の例会は、祝日のため休会と致します。

・帶広北RC、4月30日(金)の例会は、休会と致します。

・帶広南RC、5月3日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

・帶広東RC、5月4日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。

・帶 広RC、5月5日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。

■委員会報告

(各委員会)

・ニコニコ献金

(親睦活動委員会)

池田 健太 会員

ピタットハウスネットワークにおいて最優秀店舗賞を受賞し、更に優秀店舗としての殿堂入りを果たしました。支えていただいた皆さまのおかげだとここに感謝申し上げます。

佐藤 幸宏 会員

孫第3号生まれました。

合田 倫佳 会員

2021-22年度第6分区会長・幹事懇談会第1回目が無事修了しました。ありがとうございます。

河村 知明 会員

本日例会を担当させていただきます。

■出席報告

(出席委員会)

4/21例会の報告

会員総数90名 内免除会員2名

出席者数58名 内出席免除会員0名 うちZoom5名

出席率65.9%

■次週プログラム予定

4月28日(水)「会員増強は論語と算盤にあり」 (会員増強委員会)



↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30 例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立 / 昭和10年3月15日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和25年12月19日

●事務局 / 帯広市西3条南9丁目 経済センタービル3F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 進藤 敦史・副委員長 / 角 健太郎・梶野宗一郎

委 員 / 山崎 育子・新沼 彰人・木村 尚志・坂野 奨・板谷 圭佑

●ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>